

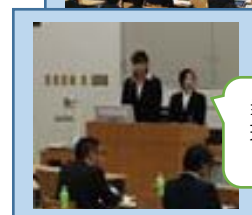


今回は、2018年12月から2019年1月に開催した行事と学生の取り組みについて紹介します。

第4回現代ビジネスプラン・コンペ2018

2018年12月15日(土)に、本学にて「第4回現代ビジネスプラン・コンペ2018」を開催しました。当日の本選会では、第一次審査(書類審査)を通過した8校10プランについて、公開プレゼンテーションが行われました。高校生の自由な発想や視点で練り上げられたアイデアが多く、プレゼンする方法にも工夫がみられ、いずれの発表も素晴らしいものでした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

審査員によって選ばれたプランは以下のとおりです。



当日の司会進行・運営は現ビズ2年生が務めました。

【第Ⅰ類 あったらしいな、こんなビジネスプラン】

《最優秀賞》 青森県立名久井農業高等学校「農家の果実、実らせ隊!!」

《優秀賞》 兵庫県立相生産業高等学校「Oyster's shell Power～人・街・未来を美しく～」

《審査員特別賞》 神戸星城高等学校 「高級ブランドの循環再リースビジネスモデル」

【第Ⅱ類 あったらしいな、こんな地域活性化プラン】

《最優秀賞》 兵庫県立松陽高等学校 「高校生が考える兵庫県政 150 周年記念事業

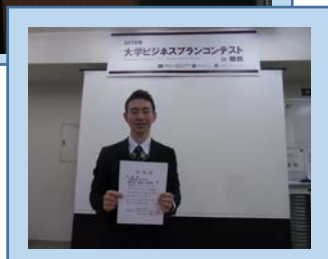
「商業科・生活文化科・地元企業との学科間・産学連携」～高校生による被災者支援 Project～」

《優秀賞》 金光学園高等学校 「日本遺産と国の重要文化財を身につけよう！」

《審査員特別賞》 兵庫県立神戸商業高等学校 「大蔵海岸をパワーアップ」

なお、「第4回現代ビジネスプラン・コンペ2018」の詳細については、「現代ビジネス学部ニューズレター～特別号～」にてお伝えします。

「ビジコンこうべ2018」に現ビズ学生が出場！入賞しました



2018年12月22日(土)に、日本経済大学(神戸三宮キャンパス)にて、神戸ベンチャー研究会主催「ビジコンこうべ2018」が開催され、現代ビジネス学科2年生の3チームが出場しました。

ビジネスプランに関するプレゼンの審査の結果、現ビズ2年生 富依大誠さん発表チームが「ビジコンこうべ2018」特別賞(第3位)を獲得しました。プラン名は「ママと赤ちゃんにやさしい“ふおろあかーと”」で、アルバイト先のスーパーで、ベビーカーとカートと同時に押しているお客様の姿を見て思いついたIoTを活用したビジネスプランです。

なお、プレゼンテーションを行った富依さんには、2019年1月30日(水)に河野学長より、学長褒賞が授与されました。

授業紹介:「プロジェクト演習Ⅰ」



2018年12月3日(月)に、現ビズ1年生の「カンパニープロジェクト」合同株主総会を開催しました。7月から準備してきた本プロジェクトは、1株1000円で資金調達し、大学祭で営業活動を行うもので、チームごとに「決算報告書」を作成し、株主総会で報告しました。大学祭での店舗経営では、天候やライバル店の予想外の価格戦略により、難しい経営判断を迫られたチームもありました。マネジメントを実践することで得た気づきを2年生以上の専門科目の学びの中で活かすことを期待しています。

留学生が地域イベント実地調査

2018年9月より韓国の国立釜慶大学校の2名の学生が現代ビジネス学部で学んでいます。本学部の李良姫教授の指導の下、2019年1月に太子町で開かれる地域イベントでの実地調査に向けて準備を進めていることが、「神戸新聞」(2018年12月25日付)で報じられました。

2019年1月13日(日)に、太子町の地域活性化を目指して町内の人気商品を販売する「第9回太子町マーケット」が開催され、2人の留学生は、来場者へのアンケート調査に加えて、太子町マスコットキャラクターの着ぐるみを着て来場者を迎え、スタンプラリー抽選やこども縁日ブースの運営などを担当しました。



プロジェクト実践:「加古川てらこや」事業第2弾を開催しました。

2019年1月13日(日)、現ビズ3年生のプロジェクトの1つ「加古川てらこや」が、「Let's 文化体験 in 鶴林寺」と題して、加古川市在住の小学生を対象に、日本の伝統・文化を学び、こどもたち同士のコミュニケーションを深めるための事業を実施しました。

小学1年から6年生までの50名のこどもたちが参加し、最初は緊張した面持ちでしたが、アイスブレイキングや餅つき、おかゆとお雑煮の昼食、ことわざカルタや座禅体験などのイベントを通して、最後はみんな笑顔で無事活動を終わりました。

当日を迎えるまで、学生たちは、企画書の作成や各種申請などを行い、8月の反省を踏まえて、円滑な実施ができるように、進行役と裏方の役割分担など綿密に打ち合わせて準備しました。当日、学生たちが考えたプログラムの中で、こどもたち一人ひとりの豊かな表情に接し、手ごたえを感じたようで、学生からは「マネジメント力が少し高まったような気がする」との感想も寄せられました。「加古川てらこや」事業は、次年度以降も次の学年の学生たちが継続して取り組みます。加古川の活性化に向けてがんばってまいります。

